



敬友会ニュース

～敬友会 (K) ケア (C) コンテスト (C) 開催～



第2回KCC開催 令和元年9月29日

昨年度と同様に、ケアコンテストをコンバックス岡山で開催いたしました。発表内容は昨年アンケート結果を元に昨年同様の「整容」「排泄」と、新たに「面接場面」を加えました。6つの施設グループより3名が出場し、最優秀チーム賞と各部門賞（1位～3位）を目指して発表していただきました。今年度は、昨年より多い186名の参加となりました。法人外の方も3名ご参加くださいました。次年度は法人外からの参加チームも募る予定です。コンテスト後に毎年恒例の10年勤続表彰では、8名の職員が表彰されました。



最優秀チーム賞 共生苑グループ

二連覇を達成！！

3人の各々の発表が大変素晴らしく、「排泄」と「面接場面」の個人部門で1位を獲得し、見事最優秀チーム賞を受賞されました。表彰式では、賞状と副賞授与後のコメントの際に涙も見られ、大変感動的でした。



特別講演

「訪問診療について」



こうなんクリニックの行う在宅医療についてご講演いただきました。人口変動等の社会情勢を背景に、これから日本が迎える超高齢化・多死社会に対応すべく、必要性が急速に高まる在宅医療についてご説明いただきました。また、高齢者にとっての入院リスクから自宅でのターミナル支援を事例を交えてわかりやすくご説明いただきました。在宅医療の必要性をひしひしと感じられる講演でした。

岡山光南病院・こうなんクリニック副院長 橋本健二先生による特別講演会

「排泄部門1位」ケアハウスパラジェネシス 介護士さん



寝たきり状態のご利用者様のオシメ交換の介助をします。ケアハウスで介護士として勤務する発表者は、普段通りご入居者様の羞恥心や尊厳を考慮した声掛けや配慮が素晴らしく、援助もスムーズでした。また介護者の腰痛リスクも考慮されたベッドの高さ調整も行い、ご入居者様と介護者双方の安心・安全に配慮した援助方法が素晴らしかったです。

「整容部門1位」邑久ナーシングホーム通所リハビリ 介護士さん

入浴を終えた左麻痺があるご利用者様に対し、着衣の援助を行います。ご利用者は身体を拭き上げて、タオルをかけて車椅子で待機しています。デイケアで介護士として勤務する発表者は、残存能力の確認を行い、自立支援を行う事に留意した支援で、大変スムーズでした。また、ご利用者様への状態確認と共にリスクを回避する配慮が素晴らしく、採点者2名とも満点をつけました。



「面接場面部門1位」ケアハウスパラジェネシスⅡ 介護支援専門員さん



デイサービスをご利用希望の方に「個人情報情報の利用にかかる同意書」を説明し同意を得ます。ご利用希望の方は左膝に痛み・難聴・白内障があります。所属事業所で介護支援専門員として勤務されている発表者は、患側を考慮した介助・聴力・視力を確認し配慮され、同意書の内容を言い換えを行って、分かり易くご説明をされていました。

事例モデルの職員皆様、ご協力ありがとうございました！

コンテスト開催に向けて事例の打合わせから、イメージ作成、当日の運営とご協力してくださったモデルの皆様です。発表者ごとモデルの動きに違いが出ないよう努めていただきました。お陰様で公正に発表が出来ました。

